

宇宙の「ビッグクエスチョン」に挑む

私たちが暮らす宇宙には、いまだ答えの見えない「ビッグクエスチョン」が数多く残されています。本講座では、ブラックホール、ダークマター、宇宙の始まり、地球外生命の可能性など、最前線の研究が挑む未解明の謎について、各分野の専門家が最新の知見をわかりやすく解説します。理論研究と観測の進展によって新たな発見が相次ぐいま、宇宙の理解はどこまで深まったのか、そして何がまだ解けていないのか。壮大な問いに向き合う、全6回の講座です。【監修：国立天文台 平松正顕・記】



Credit: EHT Collaboration

<各回テーマ(予定)>

- 1/17:「わたしたちは生命の惑星を発見できるのか」 国立天文台科学研究部准教授 藤井 友香
- 1/31:「ダークマターとは何か」 国立天文台科学研究部教授 郡 和範
- 2/7:「宇宙になぜ物質が存在するのか」 東京科学大学准教授 藤岡 宏之
- 2/21:「ブラックホールのまわりでは何が起きているのか」 東京工業高等専門学校助教 高橋 幹弥
- 3/7:「宇宙の夜明けはどのように始まったのか」 雲南大学副教授 島袋 隼士 ※リモート講演
- 3/21:「人はいつまで星空を見上げられるか」 国立天文台天文情報センター 講師 平松 正顕

※3/7の島袋講師は、オンラインで登壇します。教室では、スクリーンに投影した映像を視聴いただけます。

■日 程 2026年1月17日～3月21日 全6回 ■曜日・時間 土曜 13:00～14:45

■受講料 21,780円(6回) ■設備費 990円(6回)

※入会が必要です。(入会金は5,500円。70歳以上は入会金無料、証明書が必要です。)

※入会金・受講料・教材費等は消費税10%を含む金額です。

■場 所 ルミネ横浜8階(横浜駅東口)

◎講師紹介は裏面をご覧ください。

◎オンライン注意事項は、ホームページの「講座詳細」をご覧ください。

※ご入会の優待制度をご利用の方はお申し出ください。

※日程が変更されることがありますので、ご了承ください。

※講師の病気や、受講者が一定数に達しない場合などには、講座を中止することがあります。

<講師紹介>

藤井 友香（ふじい・ゆか）

1986年京都府生まれ。2013年東京大学大学院理学系研究科物理学選考終了。博士（理学）。東京工業大学地球生命研究所研究員、同研究所特任助教、NASA Postdoctoral Program Fellow、東京工業大学地球生命研究所特任准教授を経て、現職。

郡 和範（こおり・かずのり）

1970年兵庫県生まれ。2000年、東京大学大学院理学系研究科物理学専攻博士課程修了。2004年、米ハーバード大学博士研究員。2006年、英ランカスター大学 研究助手、2009年、東北大学大学院助教、2014年、高エネルギー加速器研究機構准教授などを経て、現職。また、高エネルギー加速器研究機構・総合研究大学院大学・東京大学カブリIPMUの教員も兼任。研究内容は、宇宙論・宇宙物理学の理論研究（キーワード：ビッグバン元素合成、バリオン数生成、インフレーション宇宙論、ダークマター、ダークエネルギー、ニュートリノ、ブラックホール、重力波、宇宙線など）。著書に『宇宙物理学（KEK物理学シリーズ3）』（共立出版）、『宇宙はどのような時空でできているのか』『「ニュートリノと重力波」のことが一冊でまるごとわかる』（ベレ出版）などがある。

藤岡 宏之（ふじおか・ひろゆき）

1980年生まれ。2008年東京大学大学院理学系研究科物理学専攻修了。博士（理学）。理化学研究所基礎科学特別研究員、京都大学大学院理学研究科物理学第二教室助教を経て、2018年より現職。専門は原子核実験、特にクォークから構成されるハドロンに関する実験的研究。

高橋 幹弥（たかはし・みきや）

1996年東京都生まれ。2019年に東京学芸大学教育学部を卒業後、2024年に筑波大学大学院にて博士（理学）を取得。日本学術振興会特別研究員DC2（2022年～2024年）を経て、2024年4月より現職。専門はブラックホール天文学、特にスーパーコンピュータなどの計算機を用いた数値シミュレーションによる理論的研究。

島袋 隼士（しまぶくろ・はやと）

1987年沖縄県生まれ。東北大学宇宙地球物理学科卒業（2011年）、名古屋大学大学院にて博士号を取得（2016年）。博士号取得後はパリ天文台（2016 & minus; 2018年）、清華大学（2018年 & minus; 2019年）での博士研究員、2019年12月より雲南大学西南天文学研究所副研究員を経て、2022年より現職。趣味は将棋、筋トレ、料理。著書に『宇宙の謎に迫る！中学生からわかる現代天文学』（技術評論社）、『宇宙暗黒時代の夜明け：2.1 cm線に迫る、宇宙138億年史』（講談社ブルーバックス）。

平松 正顕（ひらまつ・まさあき）

1980年生まれ。東京大学理学部卒。東京大学大学院理学系研究科修了。博士（理学）。中央研究院天文及天文物理研究所研究員、国立天文台アルマプロジェクト助教を経て国立天文台天文情報センター講師。専門は星形成領域の観測的研究、電波天文学。現在は、国内外での電波天文観測環境を保全するための電波周波数管理活動と、可視光赤外線天文観測に適した星空環境の保全のための活動を行っている。著書に『宇宙はどのような姿をしているのか』（ベレ出版）など。